

KSKR

移動・送迎支援活動ニュース



《2014 被災地の移動送迎支援活動セミナー・ご案内》 大災害時における障がい者・移動制約者の実態と取り組みの課題 必要な移動送迎支援活動

東日本大震災から3年目を迎えた今も、「公共交通機関などが徐々に整備され、ニーズが減っていくのではとの予測に反して、障がい者・高齢者への配慮が行き届いておらず、移動手段のニーズに対応しきれていない」(ゆめ風基金・現地レポート)という状況に胸がつまる想いです。自由な移動を制約されている方々への期限が延長された仮設住宅などにおける移動送迎支援活動の継続が、ますます重要な課題になってきているのです。

本セミナーにおいて、被災地での日常的な行政、医療、各地の支援団体グループとの連携や現地スタッフの養成、今後の自然災害支援活動時にもつながる支援体制の整備などについて、移動制約者にとって利用できる交通機関がなかった実態も含めての解明と現地からの報告を交えて、参加者全体で考えていきたいと思えます。多くの心ある皆さん方のご参加をお待ちしております。

日時：2014年**3月30日**(日)13:30~17:00(13:00開場)

会場：たかつガーデン (大阪府教育会館)
(大阪市天王寺区東高津町7-11)

資料代(カンパ)：500円

主催：認定NPO法人 ゆめ風基金
関西STS連絡会



【問合せ】

- ・認定NPO法人 ゆめ風基金
TEL:06-6324-7702 FAX:06-6321-5662 E-mail:yumekaze@nifty.com
- ・関西STS連絡会
TEL/FAX:06-4396-9189 E-mail:k-sts@e-sora.net

2014年3月1日

関西STS連絡会・会員各位 様

関西STS連絡会・代表 伊良原 淳也
事務局 柿久保 浩次

「2014被災地の移動送迎支援活動セミナー」にご参加を

前略

関西の地で移動送迎支援活動に取り組んでおられる皆さん、そして移動制約者の自由な移動の確保の課題に心を寄せてこられた皆さん方におかれましては、日々、多忙な毎日を送りながらも、ご健勝のことと存じます。

東日本大震災のあの日から、あっという間に3年が経過いたしました。この間、関西の地からもさまざまな形、さまざまなルートで、被災地への支援活動が取り組まれ、私たち関西STS連絡会、NPO全国移動ネットによる「全国移動ネット災害支援の会」の宮城県、岩手県、



福島県の被災地への移動送迎支援の取り組み、NPOゆめ風基金と共同での毎月1回の大阪難波での定例カンパ活動などは、現在もねばり強く継続されております。東日本大震災から3年目の節目を迎える今、阪神淡路大震災の苦い経験を生かしながらの私たちの取り組みのなかで、出来てきた貴重な被災地支援の取り組みと、そして、ずっと見え隠れしながらも残されてきた重たい課題などを、今一度、皆さん方といっしょに整理しなければならない時期にきていると感じているのは、私たちだけではないと思います。

そこで、私たちは来る3月30日（於：たかつガーデン）に東日本大震災の3周年を期して、災害時における障がい者・移動制約者の実態の研究を進めておられる吉田 樹さんからの問題提起や、被災地現地からの複数の現況報告、そして、NPOゆめ風基金として被災地に拠点を設定しての支援活動を通して見えてきた課題、関西STS連絡会・全国移動ネット災害支援の会が全国をネットさせながらの取り組みのなかで、切実さを増してきている「基金」設立を含めた被災地における自由な移動の確保への課題などを、膝をつき合わせて語り合える場を設定することになりました。



今回のセミナーのもう一つの特徴は、“自然災害の被災障がい者の支援”をめざすNPOゆめ風基金と、“移動制約者の自由な移動の確保”をめざす関西STS連絡会によるコラボレーションによる共同セミナーということです。

参加される一人ひとりが主人公です。3月30日のひと時を、同じ目線で共に考えてみる空間を共有しませんか。心温まる皆さん方の、こぞってのご参加を事務局一堂、心よりお待ちしております。早々

《セミナー次第》

- 【講演】「災害時における障がい者・移動制約者の実態と必要な移動送迎支援活動」：
 - ・講師：吉田 樹さん（福島大学 経済経営学類 准教授）福祉送迎調査研究者
- 【パネルディスカッション】
「災害時の移動支援の現状と3年になっての取り組みと課題」：
 - ・コーディネーター：八幡 隆司さん（認定NPO法人 ゆめかぜ基金 理事）
 - ・報告と課題の提起
 - ①村島 弘子さん（NPO法人 移動支援レラ 代表／石巻市大街道東）
 - ②竹下 敦子さん（NPO法人 ハックの家 代表／岩手県下閉伊郡田野畑村菅窪）
 - ③小山 貴さん（日本障害フォーラム いわて支援センター／岩手県陸前高田市気仙町）
 - ・助言者 吉田 樹さん（福島大学 経済経営学類 准教授）
- 【行動提起～まとめに代えて】柿久保 浩次さん（関西STS連絡会 事務局）

プロフィール

吉田 樹さん

福島大学 経済経営学類 准教授（うつくしまふくしま未来支援センター兼務）：

2007年東京都立大学大学院都市科学研究科博士課程修了。首都大学東京都市環境学部リサーチ・アシスタント、同助教を経て、12年3月より現職。専門分野は、地域交通計画、地域観光政策。国土交通省社会資本整備審議会、同交通政策審議会の臨時委員として、交通基本法案の検討に関わる。

特定非営利活動法人 移動支援レラ

石巻市大街道東4丁目2番10号（支援団体：NPO法人 石巻復興支援ネットワーク）：2011年3月の大震災により、石巻地域だけで6万台の乗用車が流出。障がいや高齢、体調不良などによる移動制約者への手助けや移動支援を石巻市、東松島市、女川町で取り組む。活動継続の一環として、障がい者や高齢者に対する“福祉有償運送事業”を準備しながら、災害時の移動支援のモデルケースをつくることをめざしている。

特定非営利活動法人 ハックの家

岩手県下閉伊郡田野畑村菅窪20-2：“トムソーヤー”のハックルベリーフィンにちなんだ団体名で、木工工作、織物、パン工房、畑作業などいろいろな作業をしている障がい者のための地域作業所。田野畑村復興の拠点の一つとして、障がい児の一時預かり事業の新規立ち上げや、地域の方のための職場づくりに取り組む。

日本障害フォーラム（JDF）いわて支援センター

岩手県陸前高田市気仙町字内野35番地7号：通院、通学支援等の移動支援に取り組む。震災から1,000日以上経った今も、仮設住宅などの支援要請は増えている。陸前高田の地元の方に半日勤務をお願いして、現地スタッフ2名と支援員によって活動を続けている。



「障害者市民防災提言集（東日本大災害版）」への想い

東日本大災害から学ぶべきこと

認定NPO法人ゆめ風基金 理事 八幡 隆司

東日本大震災から3年目を迎えています。阪神淡路大震災では3年経った時に復興住宅が計画戸数12万5000戸の94%、11万7000戸が完成していますが、東日本大震災で被害を受けた地域では、未だ復興住宅の建設がほとんど進んでいません。あと1年経っても復興住宅に入れるのは、1～2割あるかどうかというところです。未だ被災地の状況は昨年と、ほとんど変わらないのです。

死者についても阪神大震災の6500人余りに対して、現時点で死者・行方不明を合わせた数は1万8550人（警察庁2013年3月発表）で3倍近くになっており、大規模な津波がもたらした被害がいかに甚大かがわかります。

障害者の死亡数が一般の人に比べ2倍という報道もありましたが、東日本大震災が起こった時間は午後2時46分であり、デイサービスなど日中の適所サービスに通っている障害者が多かったことを考えると、これでもまだ障害者が助かったほうだと考えられます。

また阪神大震災以降、新潟での大地震が2回もあったにもかかわらず、障害者の避難支援がほとんど改善されていませんでした。

ゆめ風基金は設立10年を機に、活動の柱である被災地の障害者支援に防災を加えました。災害が発生した時に障害者市民が地域の避難所では過ごせないなど、災害が起こってからへの支援にはさまざまな課題が噴出してくることを痛感し、起こる前から防災に心がけるとともに、緊急時における障害者市民への意識を共有しておきたいと考えたからです。

今回の東日本大震災で障害者支援に関わり続け、大規模災害時における障害者支援の仕組みを今度こそ確立したいと想いは強くなりました。

2006年に発行した『障害者市民防災提言集』では、それまでの災害をもとに、大規模災害が起きた場合の障害者市民への支援について検討しなければならない内容を、15項目にまとめ提言しました。その提言は今回の災害にも通じるものですが、なかなか改善されないまま、今回も多く被災した障害者市民が命を失ってしまい、あるいは助かったものの必要な支援が受けられない状態になっています。さらに救援活動の拠点になるはずの役所が津波で流されて行政機能がマヒしてしまった市町村も出現し、地震に伴って発生した津波や原発事故の問題など、これまで考えてこなかった新たな課題も数多くみられます。

そのため、今回の大震災の支援活動から見えてきた点と、2006年の提言集から改めて重要性を再認識できた点を中心に、この提言集をまとめてみました。

まず課題を7項目プラス1項目（原発事故）に絞って緊急提言とし、前回の提言集や防災ブックレットと合わせ、それぞれの地域における障害者市民の救助・防災に関する具体例を紹介し、そして東日本大震災の支援活動のヒントになればと考えました。ただ、あまりにも被害が大きかった東日本大災害の検証には時間と人手がまだまだ必要で、不足している点もいっぱいありますが、この冊子をたたき台に、更なるご提言、ご指摘をいただければと願っています。

国土交通省
認定講習

移動・送迎サービス 運転協力者講習会

福祉有償運送運転者及びセダン等運転者「運転協力者講習会」

私たちが取り組んでいる福祉有償運送(移動送迎支援活動)は、非営利法人であれば改正「道路運送法79条」(2006年10月1日施行)に登録すれば可能となっています。

□ 改正「道路運送法」では、「**運転者の要件**」として「国土交通大臣認定の講習修了者」という要件が新設され、講習内容も**最低470分(セダン車等研修を含む)**が規定されています。□

「道路運送法」改正の目的は、「**過疎地の生活交通や要介護者・身体障害者等の移動制約者の移動を確保**」(国土交通省)とされているものの、手続きの煩雑さゆえに各地ではやむなく撤収する団体も出ている状況です。

私たちは「福祉有償運送運転者及びセダン等運転者講習」として国交省認定(2006年12月1日)を済ませ、活動継続への支援と、**移動送迎支援活動**のすそ野を広げる努力を行っているところです。この機会に受講いただき、それぞれの地域で取り組みを継続・拡大されるようお願いいたします。

※二日間のカリキュラム全てに出席された方には、**運転協力者講習の「修了証」**を発行いたします。



☎ 日 時: ①**3月17日(月)～18日(火)** ②**4月21日(月)～22日(火)**
 ③**5月19日(月)～20日(火)**

いずれも 10:00～17:00 (9:40～開場・受付)

☎ 会 場: 「**KS プラザ**」3階 研修室 (NPO法人 日常生活支援ネットワークの裏)
 大阪市浪速区敷津東3丁目5番15号【チラシ裏面:地図参照】

☎ 定 員: **20名程度** (定員になり次第締め切らせていただきます【先着順】)

☎ 参加費用: **12,000円/名** (関西STS連絡会加入団体は**7,500円/名**)

※いずれもテキスト代が別途**1,000円**必要となります。
※**運転適性診断**を希望される方は**1,500円**で実施します。
(当日受付でお支払いください。)

☎ 主 催: NPO法人 移動送迎支援活動情報センター

☎ 共 催: 関西STS連絡会

【**申込み・問合せ先**】

NPO法人 移動送迎支援活動情報センター

(担当 えのきぞの、いらはら)

TEL:06-4396-9189 FAX:06-4396-9189

(お申し込みは別紙FAX用紙にて受け付けています)



福祉有償運送運転者及びセダン等運転者講習会

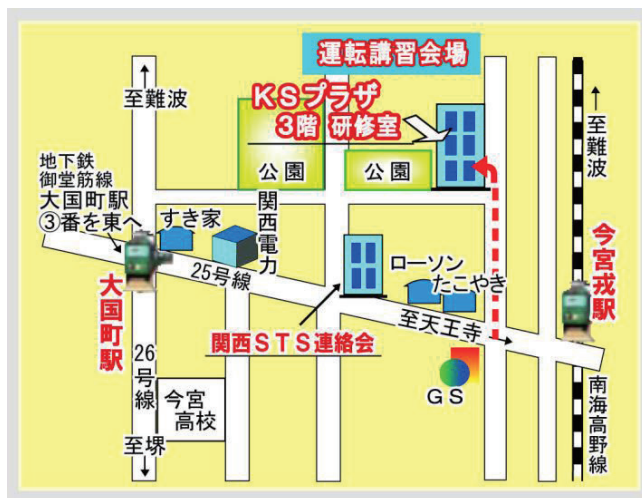
講習内容(第1日目)

- 10:00 第1章 運転協力者研修の目的と研修の進め方
- 10:30 第2章 移動・送迎サービスとは
- 11:00 第3章 移動・送迎サービスの利用者を理解する
- 12:00 昼休憩
- 13:00 第4章 利用者の心理と接遇
- 14:00 第5章 必要とされる介助と活動の様子
ガイドヘルプ及び車イス体験・介助実習
- 16:00 第10章 セダン車等運転研修(座学)
- 17:00 終了 (17:00～ 適性診断)

講習内容(第2日目)

- 10:00 第6章 移動・送迎サービスに必要な心構えとマナー
- 11:00 第7章 福祉車両について
- 12:00 昼休憩
- 13:00 第8章 移動・送迎サービス関連の交通法を理解する
- 14:00 第9章 福祉車両・セダン車両への乗降及び運転実技
1班: 福祉車両への車イス乗降・運転実技
2班: セダン車両へ乗降・介助実習・車イス実技
- 17:00 修了式

運転適性診断を希望される方は講習終了後に行います(費用は 1,500 円)



地下鉄「大国町」駅・東側、南海線「今宮戎」駅、西側

・作業所内やサービスを提供中の賠償事故に備え

事業者総合賠償責任補償制度

・職員や活動中の支援者の事故に備え

傷害見舞金補償制度

障害者補償制度20余年の実績の

A I U 保険会社

ジェイアイシーウエスト(株)

TEL : 06-6941-5187 FAX : 06-6944-1728

自動車保険等あらゆる保険の事はご相談ください

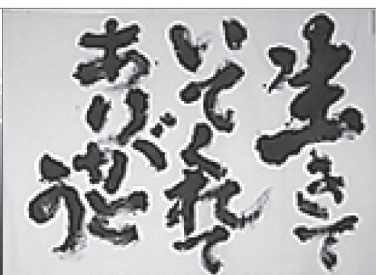
申し込み用紙

希望日 (○印を)	①3月17日(月)～18日(火) ②4月21日(月)～22日(火) ③5月19日(月)～20日(火)	
団体名	<input type="checkbox"/> 運営協議会に届出(予定を含む)の事業者 <input type="checkbox"/> 4条許可の事業者 <input type="checkbox"/> 43条許可の事業者	
団体住所 及び連絡先	〒 _____	
	電話番号(_____)	FAX 番号(_____)
(ふりがな) 参加者氏名等	(ふりがな) 氏名 住所 〒 _____	(ふりがな) 氏名 住所 〒 _____
	生年月日 年 月 日 移動送迎支援活動歴 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1年以下 <input type="checkbox"/> 1年以上	生年月日 年 月 日 移動送迎支援活動歴 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1年以下 <input type="checkbox"/> 1年以上
福祉に関する 免許・資格	例：ホームヘルパー2級	
適性診断	要 ・ 不要	要 ・ 不要

定員超過のため参加をお断りせざるを得ない場合のみ、こちらよりご連絡申し上げます。

個人情報保護法に基づき提供された個人情報はその目的以外の用途には利用しません。

FAX.06-4396-9189



東北関東大地震・津波に
被災した障害者へ支援を！

震災から3年

被災地の復興には息の長い支援が必要です。

認定NPO法人・ゆめ風基金は、阪神淡路大震災をきっかけに発足した草の根団体です。震災後いち早く救援物資をお届けし、ボランティア派遣、介助や送迎などの福祉サービスの提供等の目的で、被災地障がい者（支援）センターを立ち上げました。

震災から3年が経過しましたが、障害者はいまだに困難な生活を強いられています。



かたつむり（大船渡市）

津波で作業所が流されました。2013年3月、待望の建物ができました。

「ゆめ風基金」の運動に、ぜひお力添えを！

今回のような災害時の障害者救援金のほか、継続的にこの基金活動に参加していただける方、もっと詳しくお知りになりたい方に、リーフレットをお届けしています。お気軽にお申込みください。

認定NPO法人 ゆめ風基金

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-13-43-106
tel:06-6324-7702 fax:06-6321-5662

障害者救援金 送り先

郵便振替口座 00980-7-40043

災害にまけない
町とつながりを
願って。
みなさんの応援
をよろしく願
いします。

こんにちは！
ゆめ風基金です。

ゆめ風基金は、阪神淡路大震災をき
かけに発足した草の根団体です。
十八年間に四〇被災地の障害者救援
活動に二億五千万円の救援金を届けて
きました。

東日本大震災では、いちはやくスタ
ッフを被災地に派遣し、宮城、福島、
岩手八か所に被災地障害者センターを
立ち上げ、救援活動を続けてきました。
地震、津波で全壊した障害者作業所、
グループホームなど、障害者の大切な
生きる場、働く場の再建、修理、新設
などにも救援金をお届けしています。

二億円を超える救援金はすべてみな
さんの寄付によるものです。

被災者の生活の再建はまだまだ時間
がかかります。全ての被災者が仮設住
宅から出られるにはまだ五年以上かか
るとも言われています。

とりわけ障害者が地域で生きていく
ためには、多くのサポートを必要とし
ています。

救援金総額（2013年12月31日現在） 316,189,891円
内 東日本大震災救援金総額（2013年12月31日現在） 259,363,059円
岩手、宮城、福島県被災地障害者センター活動費 158,748,522円
生きる場働く場、活動4県51か所に総額 100,614,537円

講演 **感じたい!**
シンポジウム
避難訓練 街づくり 阪神淡路大震災
津波 放射能汚染 **共に**
東日本大震災 防災力 **生きる**
被災障害者
救援活動



認定NPO法人 ゆめ風基金
〒533-033 大阪市東淀川区東中島1-13-43-106
tel:06-6324-7702 fax:06-6321-5662 mail:yumekaze@nifty.com
HP: <http://yumekaze.in.coocan.jp/>
blog: <http://yumekaze21.blog39.fc2.com/>

再建支援9か所	34,550,000円
新設8か所	39,531,639円
県外避難所改造避難者支援	6,550,000円
補修6か所	4,207,278円
当事者6団体による救援活動	3,670,000円
当事者派遣プログラム	3,000,000円
活動支援7か所	6,000,000円
備品3か所	1,454,250円
被災障害者調査活動3件	711,370円
避難移住支援3件	640,000円
被災障害者報告会助成2件	200,000円
被災障害者情報支援活動	100,000円
合計	100,614,537円

みなさまのご寄付は公的な支援の届かない被災地の人々への生きたお金
になっています。

編集人／NPO法人 日常生活支援ネットワーク 移動・送迎支援活動ニュース編集部

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東3丁目6-10 TEL・FAX 06-4396-9189

発行人／関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2丁目2 東興ビル4F

定価／100円